

中国
南西部山岳地帯におけるアグロフォレストリー事業

現地からのお便り

2015年4月

コンサベーション・インターナショナル

プロジェクトサイトでの基礎調査

1月から2月にかけて、プロジェクトコミュニティの土壌や生態系の状態、社会的及び経済的な地位、農業習慣についての基礎調査を行いました。アンケートやインタビューを実施し、地元住民のエコフレンドリー農業や、共同で所有している森林の保護に対する姿勢や、社会経済状況のデータを集めました。

生態系や農業の専門家が、それぞれ利用法が異なる土地から土壌サンプルを集めました。これらのデータはデモンストレーションサイトを運営する際の資料として利用され、プロジェクト開始後のデータと比較して土壌改善を進化させるためにも使われます。

アグロフォレストリー工事開始！

アグロフォレストリーシステムの工事が、3月半ばに始まりました。およそ1ヘクタールの土地の準備、かんがいシステムの導入、土壌の肥沃化を経て、りんごの苗木を植えました。土壌の肥沃化には主にヤギの堆肥が使われました。

植林や、水路や発電システム、住居の建設などの工事は半年以上続く予定です。



アグロフォレストリーの準備



かんがい用パイプの敷設



りんごの苗木の購入

共同所有林の幼木

私たちのパートナーである地元政府が組織している、ガンブ村の共同所有林に植えられた幼木の世話が3月下旬に始まりました。およそ20人の村人が一週間、苗木の下の方にある枝を落とし、イトスギがよりよく育つようにしてやりました。ヤギによって荒らされた場所にも、新たに木を植えました。



イトスギの枝打ち

コミュニケーション

基礎調査とアグロフォレストリーシステム建設過程の写真とビデオが、プロジェクトのニュースレターや紹介ビデオ用に撮影されました。

これからの予定

生物多様性と炭素貯蔵のデータを集めて、基礎調査を完了させます。またアグロフォレストリーの実施と、そのエリア全体の土地開墾を続けます。ガンブ村にある小学校で環境を意識してもらう活動をおこなったり、地元住民たちに害虫対策のトレーニングも行います。オープニングセレモニーの開催の計画や、プロジェクトの広報のための資料収集も進行中です。

チベットのお正月

「ロサル」と呼ばれているチベットのお正月。今年は中国の春節と同じ、2月19日でした。この期間、ガンブ村の人たちは伝統的な衣装を着てフォークダンスを踊り、歌をうたい、夜には伝統的なチベット料理や中華風ベーコンなどのご馳走を近所の人たちでわけあいながら食べてお祝いします。ロサルの3日目には、ウェイサンと呼ばれる宗教儀式が家の中かお寺で執り行われます。丘や屋根の上の大麥を燃やして、一年間の平和と収穫を祈ります。春節のように、家族が集まって食事をしたり、赤いちょうちんをぶらさげてカブレット（韻をふんでいる連続した二行の句）を書いたり、花火があがることもあります。